

環境、紛争、コロナなど キーワードで振り返る2022年

2022年もまた激動の
年を与え、在宅勤務やリモー
ルギーにも大きく影響し、
した。そんな2022年を
あるべき姿を考えてみたい

国際物流／サプライチェーン・マネジメント

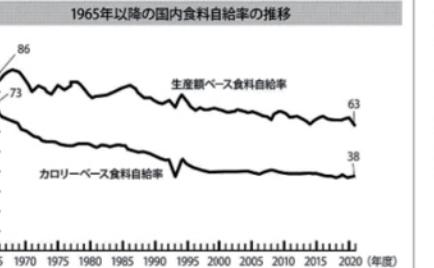
ここ数年、世界を取り巻く状況は大変複雑化してきました。たとえば、19年前のコロナ禍は、外出の制限を強いる一方で、人々が自宅で過ごす時間が増え、オンラインショッピングや宅配サービスの需要が高まりました。また、AI技術の進歩により、デジタル化が急速に進み、人々の日常生活に大きな変化をもたらしました。一方で、かかる費用などの負担が増加する傾向もあり、個人消費に対する抑制的な政策が実施されるなどして、経済成長が停滞する事態が発生しました。このように、多様な要因が複雑に絡み合っており、今後も予測困難な展開が続く可能性があります。

ば、業務用ロゼッタの導入を検討する。また、顧客情報を一元化して、顧客分析による営業戦略の策定を実現する。
■ 今後の方針
国際化が進む中で、高品質にこだわった製品を世界へ販売する。また、新規事業として、AIやIoTなどの技術を活用した製品開発や、データ分析による生産効率化など、技術革新による競争力強化を目指す。
■ まとめ
今後は、新規事業開拓や海外展開などを通じて、さらなる成長を目指す。
■ お問い合わせ
株式会社ヨコハマ
〒221-0052 神奈川県横浜市西区北幸2-1-1
TEL: 045-462-1234
FAX: 045-462-1235
E-mail: info@yokohama.com

世界の現状をうながす。そこで、アーヴィングは「世界の現状をうながす」として注目されている。



金物のデジタル化が進んだ



農林水産省Webサイト(https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/012.html)

脱炭素社会をめざして

バイオマスでエネルギーを創出

当社は家畜ふん尿や食品残渣をはじめとしたバイオガスから再生可能エネルギーを創出し、脱炭素社会の実現に貢献するバイオガスプラントを全国各地で提供しています。また私たちちは「水と環境」に寄り添い上下水道用のバルブ・ケードの製造販売や水処理装置設備の設計・建設などの提供を通して持続可能な社会に貢献してまいります。

前澤工業株式会社



北海道清水取扱業者バイオガスプラント(2018年調査)



脱炭素社会をめざして

バイオマスでエネルギーを創出

前澤工業は家畜ふん尿や食品残さをはじめとしたバイオマスから再生可能エネルギーを創出し、脱炭素社会の実現に貢献するバイオガスプラントを全国各地で提供しています。わたしたちは“水と環境”に寄り添い上下水道用のバルブ・ゲートの製造販売や水処理プラント設備の設計・建設などの提供を通じ持続可能な社会に貢献してまいります。



前澤工業株式会社

北海道清水町美蔓バイオガスプラント(2019年稼働)